

# ソレイユさがみ 新着 図書・DVD NEWS

# ソレイユ ブックレビュー

第112号 2026年2月15日

〔発行・お問い合わせ先〕

相模原市立男女共同参画推進センター

（ソレイユさがみ） 情報委員会

《指定管理者 特定非営利活動法人

男女共同参画さがみはら》

〒252-0143 相模原市緑区橋本 6-2-1

TEL 042-775-1775 FAX 042-775-1776

<http://www.soleilsagami.jp/>

## 編集委員のおすすめ新着図書

### 『なぜ人は自分を責めてしまうのか』

信田 さよ子/著 筑摩書房（2025 年）



本書は著者が公開講座等で話した中から反響の多かったものが掲載されています。この本では、自責感だけでなく、母と娘、共依存、育児といったものにまつわる問題も取り上げています。

タイトルになっている「自分を責める」について、著者は「すべて自分が悪い」という

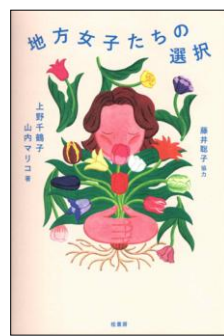
ふうに自分の存在を否定することで、世界の合理性を獲得する。この感覚を自責感といい、臨床心理学では、自責の問題はほとんど扱われてきませんでしたと述べています。

講座の語り口を活かした文章になっており、やさしく読める一冊です。

（遠藤）

### 『地方女子たちの選択』

上野 千鶴子・山内 マリコ/著 桂書房（2025 年）



著者 2 人は共に富山県出身。地方都市を富山に限定し、世代も家族環境も異なる著者が生活慣習等を背景にこれまでの経験（生き立ち）を語り、関連資料を基に地方女子を分析。また、中核となる第 2 章では 14 人の富山に縁のある 20 代から 60

代の女性の聞き取りのあと、「仕事と育児の両立」、「三世同居」など共通の質問への回答も紹介。さらに第 3 章では著者が対談形式で 14 人の女性の生き方の注目すべき点を挙げ、十分がんばってきた地方女子が納得できる自由な選択ができるよう、変わるべきは地域社会ではないかと述べています。世代を越えて女性がうなずく一冊です。

（加賀谷）

## 今号のおすすめ テーマ < 女性活躍 >



『日本の未来は女性が決める！』

ビル・エモット/著  
川上 純子/訳

日本経済新聞出版社  
（2019 年）



『日本の女性のキャリア形成と家族』

永瀬 伸子/著

勁草書房（2024 年）

## その他の新着図書



『ぶたのしっぽ』

海緒 裕/作  
嶽 まいこ/絵  
講談社 (2025 年)



『大切な家族を守る  
「うち防災」』

奥村 奈津美/著  
辰巳出版 (2025 年)



『F t M  
トランスジェンダーの  
ぼくのことを話そう』

江里 ユウキ/著  
講談社 (2025 年)



『トランスジェンダー  
男性のきみへ』

メガン・M・ローアー  
ザンダー・ケグ/編  
上田 勢子/訳  
明石書店 (2025 年)



『バカなフリして  
生きるのやめた』

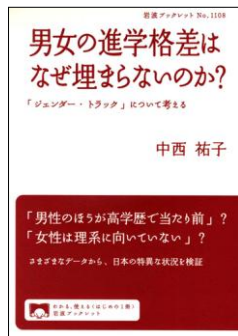
10代から考える性差別・性暴力  
仁藤 夢乃/著  
新日本出版社  
(2025 年)



『アメリカ』

空飛ぶ野ネズミの世界一周』

トーベン・クールマン/作  
金原 瑞人/訳  
ブロンズ新社 (2025 年)



『男女の進学格差は  
なぜ埋まらないのか』  
「ジェンダー・トラック」  
について考える

中西 祐子/著  
岩波書店 (2025 年)



『女性白書 2025』  
戦後・被爆 80 年、  
女性差別撤廃条約批准 40 年、  
誰もが尊重される社会を

日本婦人団体連合会/著  
出版芸術社 (2025 年)



『あの、ここどうぞ』

くすのき しげのり/作  
こがめ たく/絵  
偕成社 (2025 年)

『「児童虐待」へのまなざし』

内田 良/著  
岩波書店 (2025 年)



## ソレイユさがみ 情報コーナーご利用案内

**相模原市の貸出券でご利用できます。皆さん、どうぞお立ち寄りください!!**

- ・利用時間 9:00~21:50 (ただし、17:00以降は、貸出、返却のみ)
- ・休館日 (令和7年度)《偶数月の第4月曜日》2/23
- ・貸出冊数 図書: 10冊まで 2週間以内 DVD(ビデオ): 3本 2週間以内
- ・全国の男女共同参画情報誌が閲覧できます。
- ・DVD(ビデオ)は館内で視聴ができます。
- DVD(ビデオ)上映コーナーのリスト一覧からお選びください。
- ・大型絵本も17冊所蔵しています。(貸出は団体のみ)・館内では個人でもご覧いただけます。



ソレイユさがみ HP